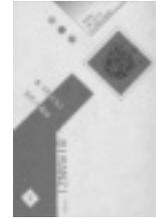


『ガリバー』全50号・総もくじ



◆ 創刊号 (97・10・10)

〈連載〉マンガ表現の形象論①

血と闇の心理 ーベタ表現ー

ドラえもん表現試論(2)

水木マンガー作者と読者の不思議な一体感

〈連載〉「銀河鉄道の夜」の旅の意味について①

銀河へ旅立つ少年たち

「毎日小学生新聞」作品リスト

風に吹かれて児童文化論

日々是まんが

なんてユータン (マンガ)

竹内オサム

藤本芳則

橋本博

松田司郎

島雄直子

川勝泰介

村上知彦

おさ・たけし

◆ 2号 (98・3・28)

〈連載〉戦後・劇場アニメ公開史①

フライシャー「ガリバー旅行記」

〈連載〉マンガ表現の形象論②

渡辺泰

〈手〉は何を指し示すのか

アラン・リーの中つ国

ートールキンの二作によせてー

〈連載〉「銀河鉄道の夜」の旅の意味について②

銀河へ旅立つ少年たち

「児童文化論」関連文献リスト

「悟空の大冒険」その他

風に吹かれて児童文化論

日々是まんが

なんてユータン (マンガ)

竹内オサム

羅望董子

松田司郎

川勝泰介

竹内オサム

川勝泰介

村上知彦

おさ・たけし

◆ 3号 (98・11・16)

『がんばれ元氣』論ノート

〈連載〉戦後・劇場アニメ公開史②

「せむし」の仔馬」と「ニュー

・シネマ・パラダイス」のことども

〈連載〉マンガ表現の形象論③

〈頭身〉も変化する

〈連載〉落語の子どもたち① 丁稚

端午の日における子どもと文化

〈連載〉「銀河鉄道の夜」の旅の意味について③

ー少年という終焉

笹本純

渡辺泰

渡辺泰

竹内オサム

中野晴行

加藤理

松田司郎



〔連載〕J・R・R・ Tolkienの視覚表現①

「準創造」と情景描写

昭和三十年の『少年』

風に吹かれて児童文化論

日々はまんが

F・M・ロッカー

川勝泰介

村上知彦

羅望童子

◆ 4号 (99・05・10)

〔連載〕マンガ表現の形象論④

瞳のむこうに映るものー視点論ふたたびー

〔連載〕戦後劇場アニメ公開史③ 番外編

短編漫画映画の時代

マンガから世界が見える

「となりのトトロ」の物語構造

〔連載〕Tolkienの視覚表現②

ヘラルディック・ディヴァイス

〔連載〕落語の子どもたち② おとなぶり

「少年」の昭和三十年代を見る

「ブラック・ジャック」のスター・システム

三人の「竹内オサムさん」

風に吹かれて児童文化論

日々はまんが

なんてユータン (マンガ)

竹内オサム

渡辺泰

中野由貴

竹内オサム

羅望童子

中野晴行

湯船燎

F・M・ロッカー

編集部

川勝泰介

村上知彦

おさ・たけし

◆ 5号 (99・12・20)

検証・藤井一郎

〔超ゴーマニスト〕手塚治虫

『ゴーマニズム宣言』の位置ー

〔連載〕マンガ表現の形象論⑤

言葉の呪縛ーコマにおける絵と言葉の関わりー

〔連載〕戦後劇場アニメ公開史④

クラシック・アニメの名作「白雪姫」

モンマルトルのらくがき

コンピュータによる文学研究メモ

ー宮沢賢治『注文の多い料理店』の場合ー

〔連載〕落語の子どもたち③ お正月

初期の雑誌「少年」を見る

風に吹かれて児童文化論

日々はまんが

なんてユータン (マンガ)

羅望童子

吉村和真

竹内オサム

渡辺泰

中野由貴

中野晴行

藤本芳則

F・M・ロッカー

川勝泰介

村上知彦

おさ・たけし

竹内オサム

渡辺泰

羅望童子

F・M・ロッカー

竹内オサム

中野晴行

村上知彦

おさ・たけし

編集部

川勝泰介

村上知彦

おさ・たけし

おさ・たけし

おさ・たけし

おさ・たけし

おさ・たけし

おさ・たけし

おさ・たけし

おさ・たけし



なんてユータン(マンガ)

おさ・たけし

◆7号(01・1・30)

紙芝居の源流をさぐる

〔連載〕戦後劇場アニメ公開史⑥

アニメ「ピノキオ」の主人公はコオロギなのだ!

生命創造にとりつかれた科学者たち

貸本漫画家人別帖

さいとう・たかをの巻

戦後の『少年クラブ』の変遷(後編)

「マンガ表現論」の文献リスト

風に吹かれて児童文化論

日々是まんが

なんてユータン(マンガ)

畑中圭一

渡辺泰

竹内オサム

聞き手・中野晴行

F・M・ロッカー

竹内オサム

川勝泰介

村上知彦

おさ・たけし

◆8号(01・9・15)

◇小特集・徳南晴一郎

知られざる徳南晴一郎と

『デイズニー・クラブ』時代

徳南晴一郎さんのアシスタント

〔連載〕マンガ表現の形象論・番外篇

単行本『マンガ表現の解体学』への前書き

夏川八朗「パン太」の冒険」の周辺から

渡辺泰

長谷邦夫

竹内オサム

羅望童子

◆9号(02・4・10)

〔連載〕児童雑誌編集者として・思い出すことども①

チバー家の人々

〔連載〕貸本マンガ家人別帳① 外伝

大阪赤本漫画の思い出 大坂トキオ・木川かえる

・田中晋一・西上ハルオ

〔連載〕マンガ表現の形象論・最終回

記号的身体とクローズ・アップ

◇小特集・ムーミンの世界

ムーミンの幻想

トーベ・ヤンソンさんからの手紙

ムーミンが日本で知られたのはアニメか原作か

児童文化学としての提案

◇小特集・マンガ研究の現状

『研究』と『批評』のあいだで

マンガ研究のモラルについて引用と参照の問題

そして『少年ブック』は:

少年ブック主要作品リスト

アットランダム・あんな本こんな本

日々是まんが

〔マンガ〕なんてユータン

風刺マンガから見た日本

『おもしろブック』はどこへ行った?

おもしろブック主要作品リスト

風に吹かれて児童文化論

日々是まんが

中野由貴

F・M・ロッカー

F・M・ロッカー

川勝泰介

村上知彦

丸山昭

中野晴行

竹内オサム

佐藤幸世

さらあかり

渡辺泰

川勝泰介

村上知彦

竹内オサム

F・M・ロッカー

F・M・ロッカー

藤本芳則

村上知彦

おさ・たけし



◆10号 (02・09・10)

教育におけるメディアとしてのマンガについて 長谷川康子
石森草太郎「二級天使」の実験 竹内オサム
〈連載〉児童雑誌編集者として・思い出すことども② 丸山昭
食えないカンツメ

〈連載〉貸本マンガ家人別帳外伝② 中野晴行
大阪・赤本マンガと手塚治虫の思い出・田中正雄 中野晴行
チック・ヤング作「ブロンディ」 渡辺泰

マンガ表現試論・水木しげるの
「見る小説・読むマンガ」 小山昌宏
熱血少年付録伝説

『少年クラブ』付録リスト F・M・ロッカー
貸本店「ミネルヴァ書房」仕入台帳 F・M・ロッカー
横山光輝漫画の周辺 高木宏

アットランダム・あんな本こんな本 なつ漫太郎
日々是まんが 藤本芳則
風に吹かれて児童文化論 村上知彦
川勝泰介

◆11号 (03・4・3)

〈連載マンガ〉マグノリア① おさ・たけし
〈連載〉聞き書き「街頭紙芝居」①

紙芝居の歴史を生きた人ー森下貞三さんに聞く 畑中圭一
〈連載〉児童雑誌編集者として・思い出すことども③ 丸山昭
楽屋裏だつて、楽じゃない

〈連載〉英和对訳のアメリカ漫画② 番外編 渡辺泰
戦前、戦後のデイズニー絵本の変遷 湯舟燎
書き換えられたカルテ (ブラック・ジャック) 論 吉川真美子

少女マンガに思うこと 白井祥隆
誌上展示会 昭和三十四年四月の手塚治虫 F・M・ロッカー
『おもしろブック』全付録リスト 藤本芳則

アットランダム・あんな本こんな本 村上知彦
日々是まんが 川勝泰介
風に吹かれて児童文化論

◆12号 (03・9・15)

手塚治虫の足あと 田浦紀子
〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑦
長編アニメ「シンデレラ姫」

「不思議の国のアリス」の公開 渡辺泰
書き換えられたカルテ・番外編 (「B・J」論) 湯舟燎
高野文子さんに会いました! 佐藤幸世

〈連載〉貸本マンガ家人別帖 中野晴行
④社領系明 中野晴行
⑤木村きよし

紙芝居画家の美学ー佐渡正土良氏に聞く 畑中圭一
横山光輝漫画の周辺、その後 なつ漫太郎
〈連載〉データで読む「少年画報」史①
腕白小僧「ボウカツ」飛び出す! F・M・ロッカー



〈連載マンガ〉マグノリア②

大和和紀の揺りかご

風にふかれて児童文化論

日々是まんが

アット・ランダム・あんな本・こんな本

おさ・たけし

吉川真美子

川勝泰介

村上知彦

藤本芳則

◆13号(04・4・12)

ヤンコミ編集格闘記

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いたすことども④

楽屋裏だって楽じゃない(一一)

〈連載〉聞き書き「街頭紙芝居」③

親子二代にわたる紙芝居一家―森下正雄さんに聞く畑中圭一

〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑧

長編アニメ「ダンボ」「ごくま物語」の公開

〈連載〉変容するマンガたち①

「スピード太郎」、描き変えのあと

◇小特集・マンガの批評研究誌

マンガの批評研究誌もくじ一覧

漫画評論をとりまく時代のうねりの中で

〈連載〉データで読む「少年画報」史②

漫画にとつては日本一に、夢は大きな少年雑誌

寛悟

丸山昭

渡辺泰

竹内オサム

編集部

橋本博

F・M・ロッカー

桑田次郎漫画の周辺

〈連載マンガ〉マグノリア③

お詫びといいわけ

ピカピカに進路を取れ!

風にふかれて児童文化論

日々是まんが

なつ漫太郎

おさ・たけし

中野晴行

吉川真美子

川勝泰介

村上知彦

◆14号(04・9・20)

物語の機能とマンガ表現

教育雑誌『ぎんのすず』と学習漫画

ふりかえるザネリ

〈連載〉戦後、日本で出版された英和対訳のアメリカ漫画③

戦前戦後の新聞雑誌のアメリカ漫画について

〈連載〉変容するマンガたち②

手塚治虫『ロスト・ワールド』の謎

手塚治虫が嫌いになった日

〈連載〉児童雑誌編集者として思いたすことども⑤

Birds of a feather flock together・

子どもとつくる劇空間めざす紙芝居師

―大塚珠代さんに聞く

横山まさみちプロ見学記

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち③

この道はいつか来た道?

「少年画報」よ、どこへ行く!

研文社《痛快漫画文庫》参考資料

〈連載マンガ〉マグノリア

ポチの居場所―大野潤子「S・C・ポチ」

小山昌宏

さいのおきよこ

木股知史

渡辺泰

竹内オサム

西上ハルオ

丸山昭

畑中圭一

高橋孝三郎

風にふかれて児童文化論
日々是まんが

川勝泰介
村上知彦

◆15号(05・4・3)

〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑨

大作「ビーター・パン」「やぶにらみの暴君」他

アニメ「ラーゼフォン」が奏でる共生社会の旋律

〈連載〉マンガ表現試論③

「ジャンプ」から「セカイ」系へ

『B・Jリポート2004』IB・Jの環境問題

〈連載〉変容するマンガたち③

宮尾しげをの絵物語「漫画太郎」の遍歴

知られざる《漫画の殿堂》芳文社からの実況報告

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いたすことども⑥

もう四〇年も経ったんだなあ

〈連載〉聞き書き「街頭紙芝居」⑤

鈴木常勝氏に聞く

―実践と研究の画面から街頭紙芝居に迫る

夏目房之介「マンガ学への挑戦」への疑問

「マンガ学への挑戦」への疑問①について

独眼独歩(1998年1月の日記)

横山まさみち

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち④

嗚呼「少年画報」、さようなら号への軌跡

インドおたく七変化―流水りんこー

風にふかれて児童文化論

竹内オサム

花澤正昭

丸山昭

畑中圭一

竹内オサム

夏目房之介

川勝泰介

吉川真美子

村上知彦

川勝泰介

吉川真美子

村上知彦

川勝泰介

吉川真美子

村上知彦

川勝泰介

◆16号(05・9・30)

〈連載〉児童出版美術游々①

『土事記物語』口絵の一枚

―清水良雄とM・パリッシュユ

〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑨

世界初の長編シネマスコープ・アニメ公開

〈連載〉マンガ表現試論④

物語の構造と「風の谷のナウシカ」

〈連載〉変容するマンガたち④

「鉄腕アトム」の原型?―「ロボット・ペリー君」

〈連載〉児童雑誌編集者として思いたすことども⑦

少女マンガ家・水野英子の誕生

〈連載〉聞き書き「街頭紙芝居」⑥

最後の絵元 塩崎源一郎氏に聞く

早明《学漫》における福地泡介と

かわぐちかいじ、ほんまりうへの私見(上)

永島慎二追悼

伊藤剛『テヅカ・イズ・デッド』の竹内批判を読んで

1981年の独眼日記(構成・高橋孝三郎)

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑤

「少年少女冒険王」のぼうけん誕生編

貸本屋ゆたか書房仕入れ台帳(上)

「いいお兄ちゃん講座」開催中

風にふかれて児童文化論

日々是まんが

〈マンガ〉ペコロス劇場①

上笹一郎

渡辺泰

小山昌宏

竹内オサム

丸山昭

畑中圭一

花澤正昭

渡辺泰

竹内オサム

横山まさみち

高木宏

吉川真美子

川勝泰介

村上知彦

ペコロス



◆17号(06・4・3)

マンガ表現試論⑤

『テツカ・イズ・デッド』と『ジャパニ
メーション』はなぜ敗れるのか』を読む

小山昌宏

『ブラック・ジャックの構造』IB・Jの初期設定

湯舟燎

手塚治虫のバンビ、ピノキオ復刻版考察

岡本帰一の童画観―その講演「童謡と絵画」の発掘

紅顔の青年も古希を迎えた(赤塚不二夫)

紙芝居を見た子どもたち

『街頭紙芝居』居の受容に関する調査」から

早明《学漫》における福地泡介と

かわぐちかいじ、ほんまりうへの私見(下)

独眼日記・マンガに感謝(構成・高橋孝二郎)

「少年少女冒険王」のぼうけん 開拓篇

「少年少女冒険王」のぼうけん 黄金期編

資本屋ゆたか書房仕入れ台帳(下)

ゆずと花花の違い―須藤真澄「長い長いさんぽ」

風にかかれて児童文化論

日々是まんが

川勝泰介

村上知彦

◆18号(06・9・20)

アニメーション備忘録①

2つの『映画ドラえもん』のび太の恐竜』

1980年版と2006年版についての比較考察

「新寶島」はいくつある?

「『新寶島』はいくつある?」

「『ピノコって、歳いくつ?』

ペコロス
おさ・たけし

江刺興次郎

湯舟燎

竹内オサム

小山昌宏

上笹一郎

丸山昭

高取英

吉川真美子

川勝泰介

村上知彦

ペコロス



◆ 19号 (07・4・3)

子ども文化におけるミニチュア志向

「ガラスの仮面」小論

畑中圭一

―美内すずえ氏の価値観について

〈連載〉マンガ表現試論⑦

細江光

「風の谷のナウシカ」、その未来への透図

小山昌宏

〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑩

渡辺泰

1957 (昭和32) 年

五味洋子

〈連載〉アニメーション備忘録②

第11回広島アニメフェスについて

近代最初の挿絵研究文献―『孤雁挿画集 巻巻』

「正チャンの冒険」余談

上窪一郎

「連載」児童雑誌編集者として思いだすことども⑩

竹内オサム

U・マイアって誰？

丸山昭

―水野英子さんに聞く 現場からの報告―

「少女クラブ」編集長丸山昭氏のお話

少女フレンド、マーガレット誕生のころ

聞き手・高橋孝三郎

〈連載〉劇画編集血風録②

「漫画エロジエニカ」を中心に・その2

高取英

「少年少女冒険王」のぼうけん 承・黄金期篇

データで読む「冒険王」史④
繰り返し読む、「読む」ことの幸せ
風にふかれて児童文化論
日々是まんが
〈マンガ〉ペコロス劇場

F・M・ロッカー

吉川真美子

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

◆ 20号 (07・9・20)

女性像から見た二つの『リボンの騎士』

「ふたりのロミ」

中川裕美

矢張夕寝

〈連載〉マンガ表現試論⑧

小山昌宏

「風の谷のナウシカ」

シャーマニズムとアニミズムの起源

1958 (昭和33) 年

渡辺泰

国産初の長編カラーアニメ「白蛇伝」誕生

〈連載〉アニメーション備忘録③

志と心意気 河童とネズミの夏休み

「日出チャンとギン公」(S7)の残酷性

五味洋子

〈連載〉児童雑誌編集者として思いだすことども⑪

「ふりそで剣士」健在！―東浦美津夫先生を訪ねて―

竹内オサム

〈連載〉少年少女マンガ誌編集回想録①

おもしろさをもとめて五十年

おもしろさをもとめて五十年

〈連載〉劇画編集血風録③

「漫画エロジエニカ」を中心に・その3

丸山昭

小長井信昌

高取英

臨時増刊「少年少女冒険王」のぼうけん

休載のお知らせ

マンガのリピートボタン

F・M・ロッカー

吉川真美子

風にふかれて児童文化論

日々是まんが

〈マンガ〉ペコロス劇場

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

◆ 21号 (08・03・20)

〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑫

1959 (昭和34)年、フクちゃん漫画家・横山隆一が

長編アニメ「ひょうたんすずめ」製作公開

〈連載〉アニメーション備忘録④

少女の成長を描いて

1 『電脳コイル』と『ペルセポリス』

初期恋愛マンガの登場と発展

1 貸本少女マンガのタイトルからさぐる

カートウンの現在

1 ひとコマ漫画の「定型化」と「重層化」について

五味洋子

しのだようこ

小山昌宏

〈連載〉児童出版美術 游々⑤

「良友」のある号の表紙絵のこと

マンガ表現論の系譜

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いだすことども⑫

「皆がNOならやってみろ」

1元 『少女』編集長・黒崎勇一

〈連載〉少女少女マンガ誌編集回想録②

おもしろさをもとめて五十年

〈連載〉劇画編集血風録④

『漫画エロジエニカ』を中心に・その4

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑤

「少女少女冒険王」のぼうけん 転換期篇

小長井信昌

高取英

データで読む「冒険王」史5

マンガおくりもの

風にふかれて児童文化論

日々是まんが

〈マンガ〉ペコロス劇場

F・M・ロッカー

吉川真美子

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

◆ 22号 (08・9・20)

宮崎駿アニメにおけるエコフェミニズムの思想

〈連載〉アニメーション備忘録⑤

海辺の生と死——『崖の上のポニョ』

初期コミックスの見開きの扱いについて

1 マーガレットコミックスを例に

貸本少女マンガ単行本表紙の変遷

◇小特集・手塚治虫「マアチャンの日記帳」

・修整の毎日・

『マアチャンの日記帳』復刻版出版の思い出

・本棚に欠かせない一冊

ささやななえこのホラーマンガ

1 その語りと崇りの日本文化

『ユリイカ』の批評特集に対して

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いだすことども⑫

「良い仕事をやったなあ」と思えるような

雑誌を作ろうじゃないか

1元 『少年』編集長・金井武志

〈連載〉少女少女マンガ誌編集回想録③

おもしろさをもとめて五十年

修士論文Ⅱ手塚マンガの映画的手法 その1

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑥

張育綾

五味洋子

しのだようこ

滝沢ひろし

渡辺泰

青野不緒

小山昌宏

竹内オサム

丸山昭

丸山昭

小長井信昌

竹内オサム



「少年少女冒険王」

のぼうけん 変身期編

データで読む「冒険王」史 ⑥

F・M・ロッカー

マンガの旬

風にながれて児童文化論

日々是まんが

〈マンガ〉ペコロス劇場

吉川真美子

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

◆23号(09・3・20)

絵の意識から読者の意識へ

「白を見る」のか? 「白く見える」のか?

少女マンガ誌におけるコマ番号の役割と廃止

〈連載〉アニメーション備忘録⑥

「ウォーリー/WALL・E」私見

少年週刊誌と少女週刊誌のマンガ率の差

〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑫

1960(昭和35)年

デイズニー大作アニメVS手塚治虫原作アニメ

マンガに描かれた「家族」の墓碑銘

『ホットロード』と『リバーズ・エッジ』

を振りかえって

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いだすことども⑬

週刊化で活路を開く

泉信行

しのだようこ

五味洋子

滝沢ひろし

渡辺泰

小山昌宏

1月刊児童誌の終焉と少年週刊誌の誕生1

〈連載〉少年少女マンガ誌編集回想録④

おもしろさをもとめて五十年

〈連載〉劇画編集血風録④

『漫画エロジエニカ』を中心に・その4

修士論文II手塚マンガの映画的手法 その2

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち④

「少年少女冒険王」のぼうけん 最終期編

データで読む「冒険王」史 ⑦

今、足りないもの

風にながれて児童文化論

日々是まんが

〈マンガ〉ペコロス劇場

F・M・ロッカー

吉川真美子

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

◆24号(09・9・20)

わたなべまさことふたご

〈連載〉アニメーション備忘録⑦

日本のアニメ史における

藤子・F・不二雄氏の足跡を辿る

〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑭

1961(昭和36)年 長編新作は「安寿と厨子王丸」

『宮崎駿マンガ論』その後

1クシヤナとナムリスの「因縁」について

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いだすことども⑮

マンガづくりは人生修行

〈連載〉少年少女マンガ誌編集回想録⑤

おもしろさをもとめて五十年

〈連載〉劇画編集血風録⑥

丸山昭

小長井信昌

高取英

竹内オサム

ET

五味洋子

渡辺泰

小山昌宏

丸山昭

丸山昭

小長井信昌



『漫画エロジエニカ』を中心に・その6
手塚治虫先生との出会い
修士論文Ⅱ手塚マンガの映画的手法 その3

高取英
近井勉
竹内オサム

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち④
「少年少女冒険王」のぼうけん 番外編

東の間の漫画改革者たち 劇画誕生 半世紀 F・M・ロッカー
憧れのスポーツ少女マンガ
風にふかれて児童文化論
日々是まんが

吉川真美子
川勝泰介
村上知彦
ペコロス
おさたけし

◆ 25号 (10・3・3)

バレエマンガのあけぼのー「マキの口笛」までー
性の越境読者ー60年代の状況 E T
「男子校」という世界

しのだようこ

ーあきづき空太「青春攻略本」ー
〈連載〉アニメーション備忘録⑧
真摯な姿勢から立ちのぼる香氣

吉川真美子

『マイマイ斬子と千年の魔法』
〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑭
1962(昭和37)年

五味洋子
長編アニメ花盛り 手塚治虫のアニメ初登場 渡辺泰

「風刺」は「笑い」の後からやってくる

ー新田「カートゥン」に流れるユーモア

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いだすことども⑩ 小山昌宏

石田英助・うしおそうじ 戦後マンガの草創期を語る 丸山昭

〈連載〉少年少女マンガ誌編集回想録⑥

おもしろさをもとめて五十年 小長井信昌

修士論文Ⅱ手塚マンガの映画的手法 その4 竹内オサム

雑誌「少年」のライバルたち 幕 F・M・ロッカー

風にふかれて児童文化論 川勝泰介

日々是まんが 村上知彦

〈マンガ〉ペコロス劇場 おさたけし

〈マンガ〉ペコロス劇場 おさたけし

◆ 26号 (10・9・20)

〈連載〉人間・手塚治虫① 橋本一郎

人間・手塚治虫(その1) E T

少女マンガの黒人表現ー1960年代を中心にー

伝統的な女の子像からの脱却

ー武田京子のキャラクターからー しのだようこ

『キャッツ・アイ』再考 小島潤子

文化産業の社会基礎 陳仲偉

台湾と日本マンガ産業との比較

〈連載〉戦後劇場アニメ公開史⑯ 渡辺泰

日本神話を長編アニメ化『わんぱく王子の大蛇退治』

〈連載〉アニメーション備忘録⑨ 五味洋子

「宇宙ショーへようこそ」

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いだすことども⑪

手塚治虫を語ろう(一) 座談会

《連載》少年少女マンガ誌編集回想録⑦

おもしろさをもとめて五十年

《連載》劇画編集血風録⑦

『漫画エロジエニカ』を中心に その7

『JUNE』創刊のあとさき(インタビュー)上

《連載》雑誌「少年」のライバルたち⑦

幕間2 戦後 子ども雑誌たちがいつばいあつた風景

《連載》機関誌『鋭角』と、その時代① (1号〜5号) F・M・ロッカー

子ども雑誌の変貌と『悪書追放運動』

風にながれて児童文化論

日々是まんが

《マンガ》ペコロス劇場

丸山昭

小長井信昌

高取英

佐川俊彦

竹内オサム

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

《連載》アニメーション備忘録⑩

『ヒックとドラゴン』3D

《連載》戦後劇場アニメ公開史⑬

ディズニー新作は「王様の剣」、

劇場版「鉄腕アトム」も

『JUNE』創刊のあとさき(インタビュー)下

『COM』と『あつぷる・こあ』

1〜4 くら・こん関西支部顛末記1

《連載》エッセイ①

西武沿線マンガ家物語

《連載》児童雑誌編集者として・思い出すことども⑬

手塚治虫を語ろう(二) 座談会

雑誌「少国民文化」執筆者索引

《連載》雑誌「少年」のライバルたち 番外編

幕間3 マンガ世界の二重構造

それはここから始まった

《連載》機関誌『鋭角』と、その時代②

編集者とマンガ家たちの『申合せ』

風にながれて児童文化論

《マンガ》ペコロス劇場

五味洋子

渡辺泰

佐川俊彦

中島隆

小長井信昌

丸山昭

浅岡靖史

F・M・ロッカー

竹内オサム

川勝泰介

ペコロス

◆ 27号 (11・3・18)

《連載》田河水泡の時代①

三冊の漫画単行本から

「かわいい文化」から「萌え文化」へ 1 「美少女

イラスト」と「萌えイラスト」の比較から

《連載》人間・手塚治虫②

人間・手塚治虫(その2)

『ロストハウス』(大島弓子)に描かれる

《自分であることの確立》と《世界の再構築》

そして《アニメとアニメスの結合》

ふたりの母のまなざし

1 貸本1960〜62の状況1

川本喜八郎 「旅人」詩人のアニメーション作家

丸山昭

小長井信昌

高取英

佐川俊彦

竹内オサム

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

《連載》アニメーション備忘録⑩

『ヒックとドラゴン』3D

《連載》戦後劇場アニメ公開史⑬

ディズニー新作は「王様の剣」、

劇場版「鉄腕アトム」も

『JUNE』創刊のあとさき(インタビュー)下

『COM』と『あつぷる・こあ』

1〜4 くら・こん関西支部顛末記1

《連載》エッセイ①

西武沿線マンガ家物語

《連載》児童雑誌編集者として・思い出すことども⑬

手塚治虫を語ろう(二) 座談会

雑誌「少国民文化」執筆者索引

《連載》雑誌「少年」のライバルたち 番外編

幕間3 マンガ世界の二重構造

それはここから始まった

《連載》機関誌『鋭角』と、その時代②

編集者とマンガ家たちの『申合せ』

風にながれて児童文化論

《マンガ》ペコロス劇場

五味洋子

渡辺泰

佐川俊彦

中島隆

小長井信昌

丸山昭

浅岡靖史

F・M・ロッカー

竹内オサム

川勝泰介

ペコロス

◆ 28号 (11・9・15)

ジャンル別に見た初期の新聞連載子ども漫画

《連載》人間・手塚治虫③

人間・手塚治虫(その3)

《連載》田河水泡の時代②

少年時代から兵役時代まで

「少年ジャンプ」の「成長物語」と

丸山昭

小長井信昌

高取英

佐川俊彦

竹内オサム

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

《連載》アニメーション備忘録⑩

『ヒックとドラゴン』3D

《連載》戦後劇場アニメ公開史⑬

ディズニー新作は「王様の剣」、

劇場版「鉄腕アトム」も

『JUNE』創刊のあとさき(インタビュー)下

『COM』と『あつぷる・こあ』

1〜4 くら・こん関西支部顛末記1

《連載》エッセイ①

西武沿線マンガ家物語

《連載》児童雑誌編集者として・思い出すことども⑬

手塚治虫を語ろう(二) 座談会

雑誌「少国民文化」執筆者索引

《連載》雑誌「少年」のライバルたち 番外編

幕間3 マンガ世界の二重構造

それはここから始まった

《連載》機関誌『鋭角』と、その時代②

編集者とマンガ家たちの『申合せ』

風にながれて児童文化論

《マンガ》ペコロス劇場

五味洋子

渡辺泰

佐川俊彦

中島隆

小長井信昌

丸山昭

浅岡靖史

F・M・ロッカー

竹内オサム

川勝泰介

ペコロス

◆ 28号 (11・9・15)

ジャンル別に見た初期の新聞連載子ども漫画

《連載》人間・手塚治虫③

人間・手塚治虫(その3)

《連載》田河水泡の時代②

少年時代から兵役時代まで

「少年ジャンプ」の「成長物語」と

丸山昭

小長井信昌

高取英

佐川俊彦

竹内オサム

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

《連載》アニメーション備忘録⑩

『ヒックとドラゴン』3D

《連載》戦後劇場アニメ公開史⑬

ディズニー新作は「王様の剣」、

劇場版「鉄腕アトム」も

『JUNE』創刊のあとさき(インタビュー)下

『COM』と『あつぷる・こあ』

1〜4 くら・こん関西支部顛末記1

《連載》エッセイ①

西武沿線マンガ家物語

《連載》児童雑誌編集者として・思い出すことども⑬

手塚治虫を語ろう(二) 座談会

雑誌「少国民文化」執筆者索引

《連載》雑誌「少年」のライバルたち 番外編

幕間3 マンガ世界の二重構造

それはここから始まった

《連載》機関誌『鋭角』と、その時代②

編集者とマンガ家たちの『申合せ』

風にながれて児童文化論

《マンガ》ペコロス劇場

五味洋子

渡辺泰

佐川俊彦

中島隆

小長井信昌

丸山昭

浅岡靖史

F・M・ロッカー

竹内オサム

川勝泰介

ペコロス

◆ 28号 (11・9・15)

ジャンル別に見た初期の新聞連載子ども漫画

《連載》人間・手塚治虫③

人間・手塚治虫(その3)

《連載》田河水泡の時代②

少年時代から兵役時代まで

「少年ジャンプ」の「成長物語」と

丸山昭

小長井信昌

高取英

佐川俊彦

竹内オサム

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

《連載》アニメーション備忘録⑩

『ヒックとドラゴン』3D

《連載》戦後劇場アニメ公開史⑬

ディズニー新作は「王様の剣」、

劇場版「鉄腕アトム」も

『JUNE』創刊のあとさき(インタビュー)下

『COM』と『あつぷる・こあ』

1〜4 くら・こん関西支部顛末記1

《連載》エッセイ①

西武沿線マンガ家物語

《連載》児童雑誌編集者として・思い出すことども⑬

手塚治虫を語ろう(二) 座談会

雑誌「少国民文化」執筆者索引

《連載》雑誌「少年」のライバルたち 番外編

幕間3 マンガ世界の二重構造

それはここから始まった

《連載》機関誌『鋭角』と、その時代②

編集者とマンガ家たちの『申合せ』

風にながれて児童文化論

《マンガ》ペコロス劇場

五味洋子

渡辺泰

佐川俊彦

中島隆

小長井信昌

丸山昭

浅岡靖史

F・M・ロッカー

竹内オサム

川勝泰介

ペコロス

◆ 28号 (11・9・15)

ジャンル別に見た初期の新聞連載子ども漫画

《連載》人間・手塚治虫③

人間・手塚治虫(その3)

《連載》田河水泡の時代②

少年時代から兵役時代まで

「少年ジャンプ」の「成長物語」と

丸山昭

小長井信昌

高取英

佐川俊彦

竹内オサム

川勝泰介

村上知彦

ペコロス

《連載》アニメーション備忘録⑩

『ヒックとドラゴン』3D

《連載》戦後劇場アニメ公開史⑬

ディズニー新作は「王様の剣」、

劇場版「鉄腕アトム」も

『JUNE』創刊のあとさき(インタビュー)下

『COM』と『あつぷる・こあ』

1〜4 くら・こん関西支部顛末記1

《連載》エッセイ①

西武沿線マンガ家物語

《連載》児童雑誌編集者として・思い出すことども⑬

手塚治虫を語ろう(二) 座談会

雑誌「少国民文化」執筆者索引

《連載》雑誌「少年」のライバルたち 番外編

幕間3 マンガ世界の二重構造

それはここから始まった

《連載》機関誌『鋭角』と、その時代②

編集者とマンガ家たちの『申合せ』

風にながれて児童文化論

《マンガ》ペコロス劇場

五味洋子

渡辺泰

佐川俊彦

中島隆

小長井信昌

丸山昭

浅岡靖史

F・M・ロッカー

竹内オサム

川勝泰介

ペコロス

◆ 28号 (11・9・15)

ジャンル別に見た初期の新聞連載子ども漫画

《連載》人間・手塚治虫③

人間・手塚治虫(その3)

《連載》田河水泡の時代②

少年時代から兵役時代まで

「少年ジャンプ」の「成長物語」と

「友情」「努力」「勝利」の行方？

小山昌宏

〈連載〉アニメーション備忘⑪
アニメーションという魔法

『イリュージョニスト』

五味洋子

日本アニメの主題歌はフランスではどうなったか
絵物語と漫画の違い 1950年代の少女雑誌

清水彩香
ET

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いたすことども⑬
手塚治虫を語ろう (二三) 座談会

丸山昭

「少女雑誌の部屋」開設顛末記
〈連載〉エッセイ②

村崎修三
(菊陽町図書館)

食の少女マンガ

小長井信昌

〈連載〉劇画編集血風録⑧
『漫画エロジェニカ』を中心に・その8

高取英

〈連載〉機関誌『鋭角』と、その時代③
娯楽性と教育性のはさま

竹内オサム

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち 番外編
幕間4 もう一つのマンガ世界 貸本漫画前編

F・M・ロツカー

風にかかれて児童文化論
〈マンガ〉ペコロス劇場

川勝泰介

まりも文集 その一
日々是まんが

ペコロス
西原麻里
村上知彦

◆ 29号 (12・3・12)

「ストーリー漫画」なる用語の起源について
カトウーンは本当に「マンガ」なのだろうか？

竹内オサム

「マンガとカトウーン」の長くて遠い間柄について
〈連載〉人間・手塚治虫④

小山昌宏

「トキワ荘の時代」への二、三の追加

橋本一郎

〈連載〉田河水泡の時代③
田河水泡のマヴェオ

大正新興美術運動の時代

山口佐栄子

戦前期における女の子像に関する一考察
一新聞連載子ども漫画を中心に

徐園

少女の理想主義 1960年代の少女週刊誌より
『キャンディ・キャンディ』にみる

ET

キャンディとフラニーの関係性
〈連載〉劇場アニメ公開史⑬

小島潤子

昭和40年・長編アニメーションは不作の年

渡辺泰

〈連載〉児童雑誌編集者として・思いたすことども⑭
「おどろぎ」の天才少年 石森章太郎デビュー

丸山昭

〈連載〉エッセイ③
追悼・ガンさん(和田慎二氏)逝く

小長井信昌

〈連載〉機関誌『鋭角』と、その時代④
少年週刊誌の創刊と読者論の先駆け

竹内オサム

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち 番外編
幕間4 もう一つのマンガ世界 貸本漫画 後編

F・M・ロツカー

風にかかれて児童文化論
まりも文集 その2

川勝泰介

日々是まんが

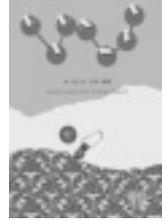
西原麻里
村上知彦

◆ 30号 (12・9・15)

日本における三国志マンガの翻案過程
一その創作概況から作品分析まで

陳曦子

〈連載〉田河水泡の時代④



『面白倶楽部』の時代 新作落語と初期漫画作品 山口佐栄子
 〈連載〉人間・手塚治虫⑤

「ライオンブックス」の誕生 橋本一郎
 描きかえられた『火の鳥』

(復刻版に見る微細な改編を中心に) 小野卓司
 少女マンガの三日月一作者の意識と姿勢をさぐる一 E T
 「時をかける少女」をめぐる二つの物語

一世代を超えて紡がれるアニメ(細田版)と 小山昌宏
 映画(大林版)の世界観

昭和41(1966)年 劇場アニメ不作為と 渡辺泰
 ウォルト・ディズニー死去のシヨック

『ファンタジア』という神話 森亮資・萩原由加里
 〈連載〉児童雑誌編集者として思い出すことども 21

手塚治虫を語ろう(四) 丸山昭
 〈連載〉エッセイ④

人の長寿 マンガの長寿 小長井信昌
 〈連載〉劇画編集血風録⑨

『漫画エロジエニカ』を中心に・その9 高取英
 『漫画の手帖』創刊の裏話

発行人・藤本孝人インタビュー十目次一覧 藤本孝人
 〈連載〉雑誌『少年』のライバルたち 番外編

幕間5 追悼 今年亡くなった漫画家の中から F・M・ロッカー
 まりも文集 西原麻里

ペコロス劇場 ペコロス 村上知彦
 日々是まんが 川勝泰介
 風にふかれて児童文化論

◆ 31号 (13・3・15)

男性身体への感情移入のしくみ 西原麻里
 〈連載〉田河水泡の時代⑤

「目玉のチビちゃん」と「人造人間」 山口佐栄子
 〈連載〉人間・手塚治虫⑥

「鉄腕アトム」、ソノシートの発売 橋本一郎
 「ガラスの城」への道しるべ

「谷間の姫百合」「乳姉妹」「あの道この道」 E T
 アニメ作品とアニソン(主題歌)の関係性を探る試み

「アトム」から「魔法少女リリカルなのは」まで 小山昌宏
 〈連載〉劇場アニメ公開史②③

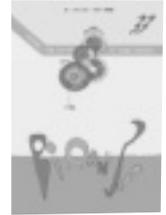
昭和42(1967)年 東映映画10周年作品と 渡辺泰
 「ひよっこりひよたん島」公開

『ペコロスの母に会いに行く』の作者、 岡野雄一
 岡野雄一さんに聞く

〈連載〉児童雑誌編集者として・思い出すことども 22 丸山昭
 手塚治虫を語ろう(五)(アニメ編②)

〈連載〉エッセイ⑤ 小長井信昌
 「のらくろ」と「星の生徒」のころ

編集者・校條満さんに聞く(上) 小長井信昌
 虫コミックスの刊行と「鉄腕アトムクラブ」の頃



校條満／聞き手 佐川俊彦

〈連載〉機関誌『鋭角』と、その時代⑤
作品のマンネリズムと盗作問題（『鋭角』41号〜60号）

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑤
野球少年に逢ったかい 創刊期篇

データで読む「野球少年」史①

まりも文集

日々是まんが

ペコロス劇場

竹内オサム

F・M・ロッカー

西原麻里

村上知彦

ペコロス

◆ 32号 (13・9・15)

子どもマンガの「悲劇性」

アニメの映像はどのようにつくられているのか？

―魔法少女「まどか☆マギカ」―

フィルムコミック版への試験

〈連載〉田河水泡の時代⑥
「のらくろ」「蛸の八ちゃん」「山口黒兵衛」の時代

醜い容貌 ―記号からの脱却をめざして―

〈連載〉劇場アニメ公開史②

昭和43年 高畑勲の傑作「ホルスの大冒険」も

竹内オサム

小山昌宏

山口佐栄子

ET

渡辺泰

〈連載〉人間・手塚治虫⑦

「W3」「ジャングル大帝」とオバQブーム

「開拓動漫祭」10周年回顧

―「同人」イベントの中の「私たち」と「他者」

〈連載〉エッセイ⑥

男性誌『Pen』の少女マンガ特集

編集者・校條満さんに聞く（下）

石森草太郎「ジュン」の単行本は凝りに凝った

私と手塚治虫と『COM』（上）

〈連載〉⑩

『漫画エロジエニカ』を中心に・その10

月刊誌の休刊と、少女週刊誌の創刊

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑤

挫折期篇 データで読む「野球少年」史②

風に吹かれて児童文化論

ペコロス劇場

まりも文集

日々是まんが

夜中の本棚

橋本一郎

陳仲偉

小長井信昌

校條満／聞き手 佐川俊彦
ばばよしあき

高取英

竹内オサム

F・M・ロッカー

川勝泰介

ペコロス

西原麻里

村上知彦

竹内オサム

◆ 33号 (14・3・15)

「男装の少女」と「異性愛」

―少女雑誌における石田英助の仕事から―

〈連載〉まだまだ謎だらけ・手塚マンガ

『映画的手法』伝説は正しいか

〈連載〉田河水泡の時代⑦

岩下朋世

みなもと太郎

戦争と漫画家 一 一九三八年から一九四五年までの田河水泡 一

山口佐栄子

ひめゆりのアンネはベトナムで被爆した

ET

一 1960年代の少女週刊誌と戦争 一

〔連載〕人間・手塚治虫⑧

橋本一郎

〔マグマ大使〕ソノシートや『漫画家残酷物語』の刊行

〔連載〕児童出版美術 游々⑥

岩岡とも枝 女性漫画家三番目の人

〔連載〕劇場アニメ公開史 22 一 昭和 44 (1969) 年 一

ギャグ・アニメの傑作「長靴をはいた猫」誕生

コンピニマンガ(ペーパーバックコミック)を読む

〔連載〕児童誌編集者として思い出すことども 23

〔マガジン〕対『サンデー』

〔連載〕エッセイ⑦

オリンピックの記憶 一 編集者時代の思い出など 一

私と手塚治虫と『COM』(中)

〔連載〕機関誌『鋭角』と、その時代⑦ 最終回

青少年健全育成條例や内務省の指示要項

〔連載〕雑誌「少年」のライバルたち⑤

「野球少年」は変わったかい

データで読む「野球少年」 史③ 転換期編(1)

ヨーロッパのマンガ研究

中国の漫画アニメ研究

中国のマンガ出版

まりも文集

日々是まんが

夜中の本棚

村上知彦

◆ 34号(14・9・30)

フロイド・ゴットフレドソンの継承者・手塚治虫

ライアン・ホームバーグ

小学館・八大学習雑誌の時代

〔連載〕まだまだ謎だらけ・手塚マンガ②

『手塚治虫のいない風景』はあったのか

〔連載〕田河水泡の時代⑧(最終回)

田河水泡の戦後

谷間の無理 一 谷間にひっそりと萌えるあなたへ 一

〔連載〕人間・手塚治虫⑨(最終回)

「どろろ」「千夜一夜物語」、

そして「アポロの歌」に意欲を

〔連載〕劇場アニメ公開史 23 昭和 45 (1970) 年

長編アニメは不作の年

彼女たちのジブリ・ヒロイン

「宮崎駿と高畑勲」作品の女性像が問いかけるもの

〔連載〕児童誌編集者として思い出すことども 24

悪書追放運動をこう見る

〔連載〕エッセイ⑧

うしおそうじさんの「戦争と漫画」

14ページのサイレントマンガ 一

私と手塚治虫と『COM』(下)

〔連載〕劇画編集血風録①①

『漫画エロジエニカ』を中心に・その 11

〔連載〕雑誌「少年」のライバルたち 番外編⑤

竹内オサム

三谷薫

みなもと太郎

山口佐栄子

ET

橋本一郎

渡辺泰

小山昌宏

丸山昭

小長井信昌

ばば よしあき

高取英

徐園

陳曦子

西原麻里



上笹一郎

1 八島太郎若き日の自筆画帖
〈連載〉劇場アニメ公開史 23 (最終回)
昭和46 (1971)年

渡辺泰

東映動画黄金時代の終焉を飾った傑作「どうぶつ宝島」

〈連載〉エッセイ⑨

鈴木光明、三原順の展示会から

小長井信昌

〈連載〉児童誌編集者として思い出すことども 25

「トキワ荘」って何だ? (二)

丸山昭

〈連載〉劇画編集血風録⑫

『漫画エロジエニカ』を中心に・その 12

高取英

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち ⑤

「野球少年」は変わったかい

データで読む「野球少年」史③ 転換期―寄り道編

F・M・ロッカー

ヨーロッパのマンガ研究

フィリップ・チェルヴェッリ

中国の漫画アニメ研究

徐園

夜中の本棚

竹内オサム

ペコロス劇場

ペコロス

中国のマンガ出版

陳曦子

まりも文集

西原麻里

日々是まんが

村上知彦

◆ 36号 (15・9・15)

〈連載〉台湾漫画の歴史①

初期台湾漫画の特質

陳仲偉

「ゴットフレドソンの継承者・手塚治虫」

についての感想

渡辺泰

幕間5 大阪まんが大国 論 (1)

ヨーロッパのマンガ研究

F・M・ロッカー

中国の漫画アニメ研究

徐園

夜中の本棚

竹内オサム

中国のマンガ出版

陳曦子

まりも文集

西原麻里

なんてユータン

おさたけし

日々是まんが

村上知彦

風に吹かれて児童文化論

川勝泰介

◆ 35号 (15・3・12)

〈連載〉手塚治虫マンガ論①

「ジャングル大帝」の成立・その 1

赤本単行本の構想

竹内オサム

少女マンガ禁断の愛―1970年前後の性革命①―

ET

〈連載〉まだまだ謎だらけ・手塚マンガ③

「ジャングル大帝」は失敗作か

みなもと太郎

「進撃の巨人」暴力が支配する世界システムの果てに

II イメージの「壁」がリアルな「壁」を

出現させる原初的暴力

小山昌宏

〈連載〉児童出版美術 游々⑦

岩松淳の画冊『童心篇』について

鉄腕アトム「電光人間の巻」が

大川瀨正

ライアン・ホームバーグ

渡辺泰

描かれたのはいつ?

1970年前後の性革命②

マンガのデジタル化がもたらす「メディア変容」に

ET

「ジャングル大帝」の成立・その3

竹内オサム

関する覚書 ―電子コミックの普及は

小山昌宏

なぜ「新寶島」は手塚治虫の年下世代

みなもと太郎

「マンガ」に何をもちたらすのか?

竹内オサム

「トキワ荘」って何だ? (三)

丸山昭

「漫画少年」での連載がスタート

「連載」エッセイ⑩

小長井信昌

「連載」劇画編集血風録¹²

私は、その日玉音放送を聞いた

丸山昭

「連載」児童雑誌編集者として思い出すことども¹²

「トキワ荘」って何だ? (二)

「連載」雑誌「少年」のライバルたち⑤

丸山昭

「連載」雑誌「少年」のライバルたち⑦

「野球少年」は変わったかい

データで読む「野球少年」史③ 転換期編 (2)

F・M・ロッカー

中国のマンガ出版

F・M・ロッカー

ヨーロッパのマンガ研究

中国のマンガ出版

徐園

中国のマンガ・アニメ研究

徐園

風にふかれて児童文化論

陳曦子

川勝泰介

風に吹かれて児童文化論

ファイリッポ・チエルヴェツリ

◆ 37号 (16・3・3)

〈連載〉台湾漫画史(二)

1960年代における漫画審査の衝撃

一步二歩三歩ほら あるける

陳仲偉

◆ 38号 (16・9・20)

一足の障害はどう扱われたか

テヅカ・イズ・アメリカン 渡辺泰氏に答える

ET

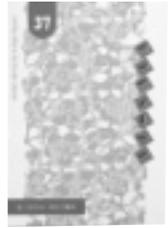
〈連載〉日中における中国四大名著の受容と再創作①

『水滸伝』と『紅樓夢』の受容 および再創作

ET

〈連載〉1920〜30年代中国における連載漫画

陳曦子



その1 連載漫画誕生の社会背景

―西洋のコミックストリップの受容―

〈連載〉「新寶島」は手塚治虫の年下世代にしかなぜ支持されないのか 続き

〈連載〉台湾漫画の歴史③

台湾漫画記・日本漫画の海賊版だらけの1970年代

巴里夫と『風車』―ユーモアと教訓―

夢みるウエディング人形

1だって、いつかマンガのように式を挙げるんだもん

手塚漫画の？クエスチョン？

百態漫画の成立と展開

恋愛マンガとハーレム漫画

―三角関係が織りなす恋愛の形

〈連載〉手塚治虫マンガ論④

「ジャングル大帝」の成立・その4

雑誌連載4回めの推敲と構想

〈連載〉マンガたちよ！

編集者たち その1

「ブラック・ジャック誕生秘話」

〈前篇〉

〈連載〉劇画編集血風録¹³

徐園

みなもと太郎

陳仲偉

しのだようこ

渡辺泰

山口佐栄子

小山昌宏

飯田耕一郎

橋本一郎

竹内オサム

高取英

高取英

『漫画エロジエニカ』を中心に・その13

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑧

「野球少年」は消えたのかい

データで読む「野球少年」史④ 終期編(2) F・Mロッカー

ヨーロッパのマンガ研究

風にかかれて児童文化論

まりも文集

◆ 39号 (17・3・1)

2017年、日本アニメ生誕100周年を祝福

〈連載〉手塚治虫マンガ論⑤

「ジャングル大帝」の成立・その5

光文社版単行本(全4巻)への再編

少女マンガの劇画革命 1少女劇画はあったのか？

新千歳空港国際アニメーション映画祭2016

〈連載〉1920〜30年代中国における連載漫画

その2 多様化された「牛鼻子」

〈連載〉日中における中国四大名著の受容と再創作②

神怪ワールドを堪能させる『西遊記』(上)

日中における『西遊記』の再創作状況を中心に

陳曦子

陳仲偉

模索と反日本漫画の潮流

〈連載〉まだまだ謎だらけ・手塚マンガ⑥

なぜ「新寶島」は手塚治虫の

年下世代にしかな支持されないのか 続き

みなもと太郎

合志マンガミュージアム顛末記

―私的コレクションを

公的収蔵施設に収めるまでの道のり

トークイベント「ブラック・ジャック誕生秘話」

(後篇)

橋本博

〈連載〉マンガたちよ!

編集者たち その2

飯田耕一郎

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑨

『野球少年』史番外

『野球少年』付録リスト

F・M・ロッカー

ヨーロッパのマンガ研究

フィリップ・チエルヴェッリ

風にふかれて児童文化論

まよりも文集

ペコス劇場

西原麻里
岡野雄一

◆40号(17・9・10)

三つの連続と一つの切断 みなもと太郎『風雲児たち』

のマンガ表現と歴史洞察①

『解体新書』一件

高橋明彦

言葉の呪縛をめぐる逆説について

三輪健太郎

楳図かずお『別世界』における楽譜のアナリーゼ

長谷和明

田河水泡 杉浦茂作

「侠助使勇伝」 「満州の使ちゃん」について

山口佐栄子

〈連載〉1920〜30年代中国における連載漫画

その3 「Bringing up Father」に

影響された「ノンキナトウサン」と「王先生」

徐園

〈連載〉日中における中国四大名著の受容と再創作③

神怪ワールドを堪能させる『西遊記』(中)

日中における『西遊記』の再創作状況を中心に

〈連載〉台湾漫画の歴史⑤

陳曠子

1990年代、漫画産業の盛衰(前編)

陳仲偉

戦後日本における「吸血鬼」マンガのイメージ形成

ドラキュラ映画から

「きりとぼらとほしと」 「ポーの一族」まで

東京アニメアワードフェスティバル

小山昌宏

(TAAE)2017

ロシア、ソ連アニメ戦前戦後の日本公開の歴史

五味洋子

女子は社会のイメージに支配されるか

渡辺泰

〈連載〉まだまだ謎だらけ・手塚マンガ⑦

E T

手塚治虫はさいとう・たかをに感謝すべきか

みなもと太郎

〈連載〉「ジャングル大帝」の成立・その6

竹内 オサム

小学館版への変則的な推敲

高取英

〈連載〉劇画編集血風録¹⁴

なつ漫太郎

「おざわあきら」ってだあれ

なつ漫太郎

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑨

『野球少年』史番外

『野球少年』主要作品リスト

F・M ロッカー

「マンガのひみつ大冒険!」をオープンしました!

土居安子

まよりも文集

ペコス劇場

西原麻里

岡野雄一

◆41号(18・3・1)

〈連載〉「ジャングル大帝」の成立・その7

竹内オサム

文民社版への再編



〔連載〕まだまだ謎だらけ・手塚マンガ⑧
手塚治虫の「パクリ」は責められるべきか。
東映動画（現・東映アニメーション）の

みなもと太郎

アメリカ公開作品についての考察
『KUBO／クボ 二本の弦の秘密』
〔連載〕マンガにおける絵と言葉②

渡辺泰
五味洋子

マクラウドの三角形をめぐる

三輪健太郎

〔連載〕1920～30年代中国における連載漫画
その4 連載漫画に見られる1920年代の日本と中国

1 「フンキナトウサン」と「王先生」の主題の比較 徐園

新関健之助と博文館

1 三康図書館所蔵『新少年』『少年少女譚海』より

山口佐栄子

〔連載〕日中における中国四大名著の受容と再創作④
神怪ワールドを堪能させる『西遊記』（下）

陳曦子

〔連載〕台湾漫画の歴史⑥

ET

1990年代、漫画産業の盛衰（後編）

飯田耕一郎

陳仲偉

元COM編集者大塚豊さんに聞く聞き手

〔連載〕雑誌「少年」のライバルたち⑩

「漫画少年」の子供たち その一

F・M・ロツカー
フィリップ・チエルヴェリ

まりも文集
ペコス劇場

西原麻里
岡野雄一

◆ 42号（18・8・30）

〔連載〕1940年代中国における漫画

日本占領期の『北京漫画』にみられる日本の漫画

描線と偶然性―倉多江美試論

徐園
高橋明彦

〔連載〕日中における中国四大名著の受容と再創作⑤

日本の三国志マンガにおける表象考察（上）
横山光輝の『三国志』

高畑勲氏の思い出

人形アニメの新時代意欲作続々公開

陳曦子
渡辺泰
五味洋子

〔連載〕まだまだ謎だらけ・手塚マンガ⑨
手塚治虫の「かわいい」はデイズニー起源なのか

みなもと太郎
山口佐栄子

新関健之助と博文館・追記

〔連載〕台湾漫画の歴史⑦
2000年代、新たな混沌と混乱の中に

陳仲偉

マンガにおける「表現」と「読解」の

小山昌宏

接合可能性についての覚書

〔連載〕「ジャングル大帝」の成立・その8
連載の苦悩と、用語「ストーリー漫画」成立の背景

竹内オサム

〔連載〕「マンガたちよ！」

編集者たち 第四回

飯田耕一郎

〔連載〕劇画編集血風録15

『漫画エロジエニカ』を中心に・その15

高取英



「ピランジ」の文化庁メディア芸術祭受賞を祝福！ 渡辺泰

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑪

『漫画少年』の子供たち その二

F・M・ロッカー

ペコロス劇場

ペコロス

夜中の本棚

竹内オサム

まりも文集

西原麻里

風に吹かれて児童文化論

川勝泰介

◆43号(19・2・22)

福井英一の「イガグリくん」が語るもの 山口佐栄子

〈連載〉1940年代中国における漫画

日本占領期の『北京漫画』にみられる中国漫画家の漫画

―「時事・政治」漫画を中心に― 徐園

女と男の入れ替え物語―「リボンの騎士」を中心に― E.T

大人にこそ刺さる傑作『スマールフット』 五味洋子

〈連載〉日中における中国四大名著の受容と再創作⑥

日本の三国志マンガにおける表象考察(中)

『龍狼伝』と『蒼天航路』 陳曦子

マンガ表現論と物語論の架橋(2)

マンガにおける「表現」と「読解」の

接合可能性についての覚書 小山昌宏

〈連載〉台湾漫画の歴史⑧

2010年以降、漫画文創論

(漫画はいい商売)の勃興 陳仲偉

手塚治虫が敬愛したウォルト・ディズニー(前編) 渡辺泰

「地底国の怪人」 手塚治虫の

ストーリーマンガの源流とアメリカ的大衆文化

ライアン・ホームバーク

〈連載〉「ジャングル大帝」の成立・その9

「ジャングル大帝」に影響を与えた映画

―「密林の王者」や「バンビ」など― 竹内オサム

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑫

『漫画少年』の子供たち その三

F・M・ロッカー

風に吹かれて児童文化論

川勝泰介

ペコロス劇場

岡野雄一

まりも文集

西原麻里

◆44号(19・9・18)

加藤一彦ことモンキー・パンチ先生の

講演と会見の思い出 渡辺泰

大今良時『不滅のあなたへ』

―変身が織りなす世界創造と救済の物語 小山昌宏

東京国立近代美術館「高畑勲展」レポート

五味洋子

〈連載〉1940年代中国における漫画

日本占領期の『北京漫画』にみられる中国漫画家の漫画

―「社会・風刺」漫画における「隠喩と抵抗」― 徐園

戦時下における中日漫画家団体の機関紙の比較研究

―漫画の創作手法と表現形式を中心に― 雷壹麟

〈連載〉日中における中国四大名著の受容と再創作⑦

日本の三国志マンガにおける表象考察(下)

『覇・LORD・』に隠れた国家観念と政治人物 陳曦子

駈落ちより崖落ち―物語学最初の仮説―

E T

〈連載〉マンガにおける絵と言葉③

楳図かずお「ダリの男」における二つの顔

三輪健太郎

「のらくろ」もどき―函館市中央図書館蔵

山口佐栄子

「のらくろ」の亜流漫画作品について―

〈連載〉台湾漫画の歴史⑨

陳仲偉

制限と可能性

〈連載〉まだまだ謎だらけ・手塚マンガ⑩

みなもと太郎

まだまだある手塚治虫の功績

〈連載〉「ジャングル大帝」の成立・その10

竹内オサム

動物三部作はSF三部作の裏メニュー?

竹内オサム

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑬

F・M・ロッカー

風に吹かれて児童文化論

川勝泰介

『手塚治虫99のことば』の企画から発刊まで

橋本一郎

まよりも文集

西原麻里

ペクロス劇場

岡野雄一

◆45号 (20・2・22)

牧野大誓作、井元水明画「長靴の三銃士」を巡る考察

山口佐栄子

小野沢巨のプロレタリア思想研究

―中日戦争時期における中国での活動に重点を置いて―

王恵

闘いの表象、その変化 1960年代の技術主義

竹内オサム

いまやから おおあちやんとほくと

―Where in Time Are Grandma and Me?―

E T

〈連載〉日中における中国四大名著の受容と再創作⑧

諸星大二郎が『西遊記』を語る

「西遊妖猿伝」における表象分析

陳曦子

〈連載〉1940年代中国における漫画

中国漫画史における豊子愷と日本

徐園

朝ドラ『なつぞら』に描かれた

アニメーションとその世界

五味洋子

近藤諭乃の描画の世界 1少女期における

〈草花〉と〈昆虫〉イメージの内観性

小山昌宏

〈連載〉「ジャングル大帝」の成立・その11

記号的身体と絵物風リアリズム

竹内オサム

〈連載〉まだまだ謎だらけ・手塚マンガ⑪

手塚治虫の後継者は抹殺されたか?

みなもと太郎

〈連載〉『漫金超』と『ほくら』の時代(1)

『漫金超』創刊号は、いつ発売されたのか?

村上知彦

〈連載〉「マンガたちよ!」

編集者たち(第五回)

飯田耕一郎

1970年代アニメブームとアニメ雑誌の関係を読む

回想の『月刊OUT』第一回

霜月たかなか

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑭

『漫画少年』の子供たち その五

F・M・ロッカー

まよりも文集

ペクロス劇場

西原麻里

◆46号 (20・9・15)

〈連載〉「ジャングル大帝」の成立・その12

「ジャングル大帝」と大陸移動説

竹内オサム



「ライオン・キング」と

「ジャングル大帝」の争点について

牧野大誓作、井元水明画

「へのへの龍騎兵」「くえびこ様」より

〈連載〉1930、40年代中国における漫画

時代に翻弄された『中国漫画』

渡辺泰さんを悼む

マンガメディアにおける形態学的描線論から

生態学的描線論への転換に関する考察

日本の西遊記マンガの表象考察⑨

〜『玄奘西域記』と『最遊記』シリーズ〜

〈連載〉『漫金超』と『ぼくら』の時代(2)

なぜ「株式会社チャネルゼロ」だったのか?

〈連載〉「マンガたちよ!」

極私的エロ漫画と評論の日々(1)

〈連載〉

1970年代アニメブームとアニメ雑誌の関係を読む

回想の『月刊OUT』第2回

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち⑮

『漫画少年』の子供たち その六

風に吹かれて児童文化論

まよりも文集

渡辺泰

山口佐栄子

徐園

五味洋子

小山昌宏

陳曦子

村上知彦

飯田耕一郎

霜月たかな

F・M・ロッカー

川勝泰介

西原麻里

ペコス劇場

◆47号(21・2・20)

「海野十三が遺したものだ」

〜手塚治虫作品などへの影響〜

〈連載〉手塚治虫・執筆ページ検証(その1)

1946〜1958 デビューから週刊誌時代前夜まで

日本占領期に発行された『中華漫画』の創刊構想と特徴

〈連載〉日中における中国四大名著の受容と再創作⑩

西遊記マンガにおける人物の構築

荒井一寿研究ノート

花村えい子さんの業績を考えながら

科学と社会をみつめる

広島国際アニメーションフェスティバルの行方

マンガメディアにおける形態学的描線論から

生態学的描線論への転換に関する考察

〈連載〉『漫金超』と『ぼくら』の時代(3)

〈連載〉「マンガたちよ!」

極私的エロ漫画と評論の日々(2)

〈連載〉

1970年代アニメブームとアニメ雑誌の関係を読む

回想の『月刊OUT』第3回

『ピランジ』創刊当時の思い出

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち番外編

探索暗の森に潜る(上)

探索暗の森に潜る(上)

化けられるタヌキは泳げるカエルの夢を見るか

岡野雄一

小野卓司

鈴木昭彦

許風清

陳曦子

山口佐栄子

ET

五味洋子

小山昌宏

村上知彦

飯田耕一郎

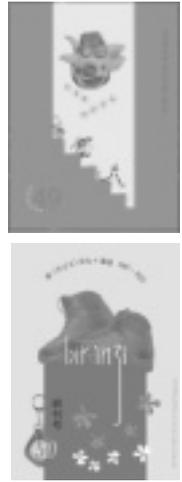
飯田耕一郎

霜月たかな

竹内オサム

F・M・ロッカー

佐川俊彦



まよりも文集
風に吹かれて児童文化論
ペコロス劇場

西原麻里

川勝泰介

岡野雄一

◆48号 (21・9・6)

手塚治虫の10セント・コミック ライアン・ホームバーグ
『手塚治虫単行本図鑑』作製中！
二階堂黎人

〈連載〉手塚治虫・執筆ページ検証(その2)
1959〜1972、週刊誌時代の到来と
虫プロ全盛、終焉まで

鈴木昭彦

新美琢真

田河水泡作品の奥付から探る戦前期児童漫画の一面
〈連載〉1930、40年代中国における漫画
戦争の時代を生き抜いてきたキャラクターたち
―「のらくろ」と「三毛」の比較研究

徐園

E.T

手塚治虫ではない戦後マンガ

荒井一寿の漫画

宮尾しげを漫画研究のススメ

雪の中の少女―花村えい子作品を考える―

〈連載〉日中における中国四大名著の受容と再創作①
日中における『西遊記』の二次創作と漫画とアニメ

陳曦子

『ピランジ』の思い出―その二〇年の歳月を振り返って

〈連載〉『漫金超』と〈ほくら〉の時代(4)

〈連載〉「マンガたちよ!」

極私的エロ漫画と評論の日々(3)

飯田耕一郎
広島国際アニメーションフェスティバル全18回の記録

〈連載〉雑誌「少年」のライバルたち 番外編 五味洋子

探索嗜の森に潜る(中) F・M・ロッカー

野球007、ネオ東京、アベノマスク

佐川俊彦
風に吹かれて児童文化論

まよりも文集
ペコロス劇場

西原麻里
岡野雄一

◆49号 (22・2・20)

知られざる先駆者―加東てい象試論

〈連載〉手塚治虫・執筆ページ検証(その3)
1973〜1989、虫プロ倒産から復活 晩年まで

鈴木昭彦

宮本大人

〈連載〉1930、40年代中国における漫画
「のらくろ」にみられる読者の位置づけ

徐園
ヒロインへの道―かわいいと強い両立―

科学と文学の〈あいだ〉

E.T
―イジョルジュ・サンド晩年の試み―

〈連載〉日中における中国四大名著の受容と再創作②

日本の西遊記マンガ創作とその内面

―原作と二次創作の世界観・作者と読者の位置づけ― 陳曦子

2021年のアニメーション映画を振り返る 五味洋子

手塚治虫「ママ探偵物語」の刊行に寄せて

〔連載〕『漫金超』と〈ぼくら〉の時代 (5)

〔連載〕「マンガたちよ!」

極私的エロ漫画と評論の日々 (4)

科研費による漫画研究・一覽

〔連載〕雑誌「少年」のライバルたち 番外編

探索曙の森に潜る (下)

監禁マンガ家は、ナース豚の夢を見るか?

または、ミザリーと言う勿れ

風に吹かれて児童文化論

まよりも文集

ペコロス劇場

竹内オサム

村上知彦

飯田耕一郎

竹内オサム

F・M・ロッカー

佐川俊彦

川勝泰介

西原麻里

岡野雄一

岡野雄一

◆ 50号 (22・9・20)

《特集》世界のマンガ研究

北米におけるコミックス研究の歴史と動向

フランスにおけるバンドデシネ研究史

中国におけるマンガ研究の歴史と現状

台湾におけるマンガ研究の発展と挑戦

鈴木繁

猪俣紀子

徐園・許嵐清

陳仲偉

ミッキーマウスはどうして声を発しなかったのか?

「ペカシーヌ」のこと

〔連載〕日中における中国四大名著の受容と再創作 ⑬

中国の西遊記マンガ創作

〔近年の代表作と創作における変化〕

同人誌『FUN AND FANCY FREE』

山口佐栄子

久美薫

陳曦子

陳曦子

五味洋子

について

五味洋子

〔連載〕

『漫金超』と〈ぼくら〉の時代 (6)

〔連載〕「マンガたちよ!」

極私的エロ漫画と評論の日々 (5)

マンガ研究の萌芽―自らの歩みを振り返って―

竹内オサム・主要研究業績 (リスト)

『ピランジ』所蔵図書館一覽

『ピランジ』全50号・総もくじ

付度へBLへマンガ的ストーリーへトンデモ発想

へビートルズへGET BACK

風に吹かれて児童文化論

まよりも文集

ペコロス劇場

村上知彦

飯田耕一郎

竹内オサム

竹内オサム

竹内オサム

佐川俊彦

川勝泰介

西原麻里

岡野雄一

岡野雄一